

河辺林通信

建部北町の森から

2019年2月号 No.250

↑センター前の高木を伐採。
若い森づくりがはじまります！

一緒に森づくりしませんか

2018年に大きな被害をもたらした台風21号。

その爪痕は現在も森の中に残っています。遊林会の定例活動では対処しきれないほどの被害や、あまりにも大きくなりすぎて技術的に伐倒できない大木など、台風被害の後に様々な課題が浮上してきました。

また、先月の15日（火）と16日（水）には、永源寺の森林組合に依頼し、ネイチャーセンターの前に生えていた、大きく育ったクヌギとケヤキ、合計7本を伐りました。

これは伐ることによって「萌芽更新」をおこし、新たな若い芽を芽吹かそうという試みです。

そこで、2月9日（土）を皮切りに、2月19日、27日、3月9日、27日と計5回、当森で仲間を募って新たな里山作りをすることを決めました！

初回の内容は、2001年に萌芽更新したエリアのクヌギをのこぎりを使って再度更新させます。ご興味のある方はぜひお越しください！詳細は「遊林会」で検索！



↑いろいろめがね作り

9回目のモリイコ！は、午前中はいろいろめがねを作りました。普通に森を見るよりもこのめがねを通して見た方が、ピンポイントで見ることができます。いつものたんけんでは見つからなかった発見を、このめがねを通して発見することができました！

午後からは「河辺の森おんせん」と題して足湯をしました。自分たちでたき火をおこし、そのたき火で石を焼く。焼いた石は田舟に張った水にボチャン

と入れます。何度も焼き石を入れ足湯の完成！みんなで一緒に入りました。ひとしきり普通の足湯を堪能した後は、ゆuzuを浮かべてゆuzu湯にしました！



↑みんなで足湯

次世代につなげる
里山づくり
はじまります!!

里山は、切らすに守るのではなく、人が利用しないと守れない自然です。1998年の保全活動開始から20年以上たった今、これらの新しい里山の姿を目指して次世代につなげる里山づくりをスタートさせます。その最初のスタートを、一緒にさっそくみませんか？！

■日時（第1回目）
2019年
2月9日（土）9:30～15:00

■場所
河辺いきものの森
(東近江市建部北町531)

■持ち物等
作業しやすい服装でお越しください
必要な道具等は持ちやすく販売します
昼食は準備しますが、ウンコイン(500円)がおすすめです

■作業内容について
森を若返せよ！木、約20年にさって直径10～20cmに育った木をノコギりでさります
ううことで、切り株から新しい芽が生えるようになります

■スケジュール（予定）
10:30～12:30 里山の紹介
12:00～13:00 午前
13:00～15:00 作業、休憩、昼食付き
午前のふの奉公も可です
※午後1時半頃～1時間、作業内容等は予定通り場合あります

■詳しいは…
特定非営利活動法人 里山保全活動団体 遊林会
東近江市建部北町531
河辺いきものの森 ネイチャーセンター内事務局まで
TEL 0746-20-5211
IP 050-5801-5221

主催：東近江市、NPO法人 遊林会
遊林会は1998年から河辺いきものの森の保全活動をしている団体です。2014年に法人化しました。

9回目のモリイコ！Sは、森でお正月。

年明け最初のたんけんは、野神様におまいりにいきました！木の実や草花を集めて、野神様にお供えしました。

たんけんのあとはミッショングです。今年初のミッショングは、「森でごろく」です。森の中に設置された様々なミッションをクリアすれば2マス、失敗したら1マス進みます。どの班が早く戻ってくることができるかを競いました。

午後からは工作をしました。午前中にあったミッショングの竹口ケットや竹けん玉などの作品や、自分で考えたものを自由に作りました。森でのお正月をみんな楽しんでくれたと思います。



↑森の中ですごろく

●1月の作業だより

第2土曜日（1月12日）27人

①竹伐採班

作業小屋の前のテントの竹を変えるために竹を伐採しました。

②機械刈り班

くさはら広場のすすきを刈りました。カヤネズミのために少しだけ残し、残りは燃やしました。

③落ち葉かき班

フデリンドウを復活させるために、くさはら広場と森の堀をかきました。

④足湯浴槽作り班

2月・3月のイベントのための足湯の浴槽を作りました。

⑤食事班

芋ご飯にカブの煮物など、地場野菜たくさんの美味しいご飯でした。

1月観察会

2019年はじめての観察会は、遊林会漢字検定と題して、漢字テストを行いました。まずは、森歩きをしながらお勉強。最後にテストするということで、いつもよりみんなちょっと真剣？



今は、カマキリの卵が見られます。ということで漢字は「螳螂（螳螂）」と書きます。画数も多いですが、それぞれ虫へんに、堂と郎ですね。カマキリが鎌を振り上げ敵に向かう姿を思い浮かべて、「堂々とした野郎の螳螂」とイメージすれば、ほらもう覚えられたでしょう！？ちなみに、”無謀にも強敵に立ち向かう”という意味の「螳螂の斧」という諺もあります。そこで疑問。なぜカマキリの前足は鎌というのに斧なのか…観察会のときは答えられませんでしたが、調べたところ、中国ではカマキリの鎌を斧というそうです。中国の故事からきた諺なので、そのまま螳螂の斧となりました。

こんな感じでいろいろお勉強をしながら森を一周。他にも「梟（フクロウ）」には怖い由来があったり…ここにはもう書くスペースがないので、気になる人は森のスタッフに聞きにきてください！

森を一周したら案の定結構時間を使ってしまったのでテストの時間は数分となってしまいましたが、全十問のうち100点満点も何人か。せっかく覚えたので忘れる前にまた使ってみてくださいね！

編集後記

センター前の大木は、永源寺森林組合さんの手であつという間に伐採されました。スタッフも出勤日だったので、見ていたのですが、あまりの鮮やかな手さばきに驚きました。すっかり開けたセンター前の空。これからどう育っていくか楽しみですね。これからみんなで新しい里山像を作っていくましょう（綿貫）

木ままクラブ（1月17日）

年明け最初の梵釈寺での活動。

薪割りや周遊道にかかる倒木の処理。他にも、お堂の周辺の雑木や竹、山門付近の危険木を整備しました。

第4水曜日（1月23日）

レイカディア大学の方が参加してくれたので、いつもより多い人数でした。そのため、森林組合さんに伐ってもらったセンター裏の大きなケヤキを運び出すことができました。

木ままクラブ（1月31日）

午前中は工作とテント修復用の竹の伐採をしました。午後からは、薪割りとイベント用の足湯の浴槽作りをしました。

2月の活動日

2/9
(土)
林内整備
落ち葉かき

2/14
(木)
木まま梵釈寺
伐採・竹伐り
薪割り

2/21
(水)
木まま
林内整備

2/27
(木)
林内整備

朝9:00～(遅刻可)
第2土曜日は、9:00より
1時間ほど観察会を行います

ちいさなたびいち 足湯

東近江市と一般社団法人東近江市観光協会主催で、『東近江ちいさなたびいち』に体験プログラムを出了しました。ちいさなたびいちは、東近江市の暮らしに息づくちいさな「幸せ」を集めた期間限定の旅市場で、市内で16の体験プログラムを実施します。

その16のうち1つが、「寒さをFootバス！薪でわかす足湯」と題して、河辺いきものの森で2月10日と3月3日に行います。冬の森を散策し、自然を感じた後の足湯は格別です。炭火で焼いたおもちをぜんざいにします。

遊林会理事の山田猛さんにご協力していただきまして、足湯の桶を作成しました。事務局員だけではできなかったので、大変助かりました。みなさん足湯に入って寒さをFootばしましょう！



[発行者]

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良

〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp